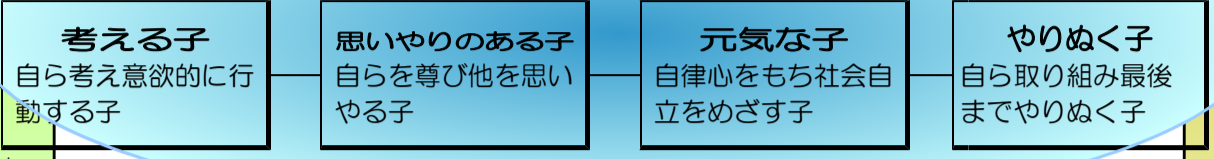


若草小の教育の構想 2020

教育目標

私たちは明るく強く伸びる若草小学校の子どもです。



学校課題 自分の居場所となる学級・学校の創造

- ・組織的対応のできる学校
- ・専門性の向上と分かる授業を推進する学校
- ・家庭や地域社会、関係機関と連携する学校

学校経営の重点方針

個に応じた指導を行い学ぶ力と生きる知恵を育てる学校（考える子）

- ・徹底した授業改善による喜びに満ちた学習の推進（焦点化、イメージ化、視覚化）
- ・継続した家庭学習の定着（宿題の習慣化、自主学習の確立）
- ・特別の教科道徳を要とした学級経営の推進（生徒指導の3機能を生かした学級経営の確立）
- ・特別支援教育の推進（学校全体として行う個別の教育的ニーズへの対応）

健康な体と自律心を持ち社会自立する力をはぐくむ学校（元気な子・やりぬく子）

- ・基本的な生活習慣の定着と確立（「早寝・早起き・朝ごはん」、メディア利用時間の短縮）
- ・運動の習慣化（運動環境の整備、体力づくりや体育授業の改善・充実）
- ・交流及び共同学習の推進（共生社会の構築に向けた初めの一歩の推進）

自己効力感を育て自分を尊び他者を思いやる心を育てる学校（やさしい子）

- ・不登校の未然防止（自己効力感の醸成と自己有用感を育む居場所づくり）
- ・いじめの未然防止（自分と他人の違いを認め尊ぶ道徳科の推進）

みんなで みんなを！

法体系が示す理想的人間

- ・人格形成
- ・新学習指導要領の趣旨（豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成、基礎基本の確実な定着）

社会・教育界の動向

- ・少子高齢化、グローバル化、情報化などによる急激な社会の変化
- ・主体的・対話的な深い学び
- ・学校の組織的な対応

子どもの実態

- 「学校は学習するところ」という意識が高まっている。
- 自分の仕事を意欲的に取り組んでいる。
- 「学年×10分+10分」の家庭学習を身に付ける必要がある。
- 生活リズムを確立し、生活習慣を定着させることが求められる。

保護者の願い

- 各教科における学力の定着を図ってほしい。
- 思いやりのある豊かな人間性を育ててほしい。
- 主体的に他者と関わり合えるコミュニケーション能力を身に付けてほしい。
- 「知」「徳」「体」がバランス良く育ててほしい。
- 安全で安心できる学校であってほしい。

おもな学校行事

- ・全校参観日
- ・オープンスクール
- ・運動会
- ・学習発表会
- ・遠足（1～4年）
- ・宿泊学習（5年）
- ・修学旅行（6年）
- ・1年生を迎える会
- ・避難訓練（火災、地震・津波）
- ・交通安全教室
- ・防犯教室
- ・薬物乱用防止教室
- ・むし歯予防教室
- ・水泳学習
- ・スケート学習
- ・夏季・冬季学習サポート
- ・放課後ステップアップ教室
- ・保護者引き渡し訓練
- ・さわやかリズム週間

学校教育力向上エリア経営会議

- <学力向上部会>
 - ・9年間を見通した指導の系統性の検討
 - ・6年間の系統性に基づく授業改善の検討
 - ・小・中、小・小による相互授業公開
- <道徳教育部会>
 - ・エリア重点項目の設定
 - ・エリア重点項目に基づく各校の重点項目の設定
 - ・全体計画、別業の検討と作成
- <特別支援部会>
 - ・小・中学校新学習指導要領及び特別支援学校新学習指導要領による教育課程の編成実施
 - ・幼保-小、中-高の接続と連携
- <生徒指導部会>
 - ・「学級活動」の現状把握
 - ・「学級活動」の見直し
 - ・「人間関係」「参画意識」「自治能力」等の視点から見た児童生徒の実態把握と改善策の検討

今年度の重点取組事項

個に応じた指導を行い学ぶ力と生きる知恵を育てる取組

喜びに満ちた学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・未履修の定着を図る教育課程 ・学力向上部会に基づく授業改善と小一中連携、小一小連携の推進 ・国語科をととした授業改善のため研修の充実 ◇アンケート「授業がわかる」全児童の80%以上	継続した家庭学習 <ul style="list-style-type: none"> ・宿題と自主学習による毎日の復習の確立（学年×10分+10分の励行） ・家庭学習の手引きの活用 ◇「学年×10分+10分」の学習ができる児童80%以上	道徳科を要とした学級経営 <ul style="list-style-type: none"> ・共感的理解に基づく児童理解 ・授業における自己決定の機会の提供 ・自己効力感の醸成 ◇アンケート「自分にはよいところがある」肯定的回答85%以上	特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育的ニーズに対応する教育課程の編成・実施 ・交流及び共同学習の充実 ・支援の必要な児童への組織的な対応の推進 ◇特別支援学級と通常学級の給食相互交流の実施 週1～2回数名単位
--	--	---	---

児童の居場所となる学級・学校の創造

組織的対応の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・情報の一元管理と迅速な共有 ・スピード感のある具体策の実施 ・専門職に足る資質能力の向上 	家庭・地域・関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組の発信（学校だより、HP） ・学校オープンデーの実施 ・研修会の実施（情報モラル教育等） 	学校教育力向上エリア会議 <ul style="list-style-type: none"> ・教科、道徳における小一中、小一小連携実施 ・特別支援教育の指導および支援体制の充実 ・児童会活動への主体的な「参画意識」の向上
---	--	--

みんなで みんなを！

自己効力感を育て、自律心を養い自立する力をはぐくむ取組

不登校への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・SSW及び関係機関との連携強化 ・自己効力感を育む学級づくり ・教育相談の充実 ◇アンケート「学校は楽しい」90%以上	いじめ問題への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の3機能を生かした対応 ・児童主体の取り組みの推進 ・教育相談の充実 ◇アンケート「相談できる」95%以上	基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・年2回「生活リズム調査」実施 ・「学校生活の決まり」の徹底 ・ネットリテラシーの育成 ◇アンケート「メディア使用時間2時間未満」80%以上	健康な体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に運動できる環境の整備 ・体づくりと関連付けた体育授業 ・感染対策の充実・徹底 ◇体力T「ボール投げ」「シャトルラン」「反復横とび」全国平均以上
---	---	---	---

